



**OWS**  
Research and Education  
Non-profit organization  
The Oceanic  
Wildlife Society

# REPORT 2024

2023.04~2024.03

特定非営利活動法人 OWS  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-6-301 (2024年5月末~)



## 沿革

1998年 11月 ●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置  
1999年 02月 ●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置  
06月 ●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置  
09月 ●東京都NPO法人の認証取得  
2000年 02月 ●各種会員の募集開始  
03月 ●会報「季刊エブオブ」創刊  
08月 ●公式ホームページ開設  
2001年 02月 ●会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏 就任  
06月 ●ネイチャースクール(自然体験学習プログラム)開始  
2002年 01月 ●OWSネイチャーガイド養成コース開始  
04月 ●アンガウル州立自然公園プロジェクト開始  
09月 ●事務局を目黒区下目黒に移転  
10月 ●海のセミナー開始  
2003年 06月 ●水中ゴミ調査開始  
09月 ●アンガウル州立自然公園ビジターセンターオープン  
11月 ●海のトークセッション開始  
2004年 05月 ●長谷川博氏(東邦大学理学部教授)OWS会長就任  
06月 ●海辺の自然教室開始  
2005年 09月 ●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始  
10月 ●事務局を豊島区雑司が谷に移転  
2006年 01月 ●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始  
2007年 07月 ●OWS 5人の写真展(巡回写真展)開始  
2008年 03月 ●北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト開始  
05月 ●砂浜海岸生物調査開始  
2009年 09月 ●ネイチャースクール 日帰りプログラム開始

2010年 03月 ●造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行  
05月 ●海辺のナチュラリスト講座開始  
2011年 04月 ●東日本大震災 被災地支援活動開始  
06月 ●ミッドウェー環礁調査ツアー実施  
2012年 06月 ●江奈湾干潟保全活動開始  
06月 ●未来に残したい海プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始  
12月 ●子どもフォトコンテスト開始  
2013年 04月 ●江奈湾・毘沙門湾干潟生物調査開始  
07月 ●海洋ゴミ企画展開始  
11月 ●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転  
2015年 04月 ●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁サンゴモニタリング調査 開始(新サンゴ調査プロジェクト開始)  
2017年 10月 ●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での魚類調査開始  
2018年 09月 ●OWS創立20周年と国際サンゴ礁年の特別イベントとして、海  
のセミナー2018 海の話・サンゴの話を開催  
11月 ●世界最北のサンゴ礁対馬サンゴ礁の水中ごみ回収活動実施  
2019年 10月 ●長崎県五島市福江島のオオスリバチサンゴ調査実施  
2020年 02月 ●世界アルバトロスデー&シーバードウィーク実行委員会結成  
長谷川会長が委員長就任、OWSが運営事務局となる  
07月 ●和歌山県那智勝浦町のゆかし潟保全活動開始  
2021年 02月 ●WEBサイトリニューアル、主要な活動を4プロジェクトに統合  
2023年 12月 ●干潟保全活動の協力研究者の共著による三浦半島江奈湾の底生動物をベントス学会誌78巻に掲載  
2024年 05月 ●事務局を渋谷区恵比寿に移転、神奈川県横須賀市に三浦事務所を新設

## 組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとったものです)	
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704 (2024年5月まで) TEL: 03-6432-9917 URL: <a href="https://www.ows-npo.org/">https://www.ows-npo.org/</a> E-mail: <a href="mailto:info@ows-npo.org">info@ows-npo.org</a>	
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。	
役員	会長	長谷川 博
	代表理事	横山 耕作
	副代表理事	高砂 淳二
	理事	森 紀子
	理事	宮川 貴子
	理事	杉森 雄幸
	理事	池上 喜代吉
	監査役	福田 秀人
	法律顧問	矢田 誠



# 2023年度 活動報告

## ●ネイチャースクールの開催

協賛:オリンパス

**OLYMPUS**

①5月20日 ネイチャースクール バスツアー  
「磯・砂浜の生きもの観察&ごみ回収体験」

◆開催地:城ヶ島 (代々木集合)

◆参加者数:14名 (小学生3年~6年)



②6月4日 ネイチャースクール 【現地集合】  
(三浦市内の小学生限定)

◆開催地:城ヶ島

◆参加者数:5校から20名 (小学生3年~6年)



③7月19日(水) 剣崎小学校6年生 出前授業  
「磯・干潟の生き物観察とカメラ教室」

◆開催地:江奈湾・東干潟と磯海岸

◆参加者:10名+教員



## 海洋ごみプロジェクト

### ● 海洋ごみ写真企画展 「海洋ごみについて考えよう！」

◆写真パネルのリニューアル(24枚セット 2種制作)  
内容改変済み

◆開催

- ・7月心齋橋オーパ:226名
- ・8月豊通グループ:150名

◆通い箱のリニューアル(2種類制作)



## ● 海洋ごみ講演と出前授業

◆1月14日(日)

港区芝地区総合センター

講演:池上理事 参加者:20名



◆1月30日(火)

神奈川県三浦市立剣崎小学校 6年生

講師:横山代表理事

参加者:10名と教員2名



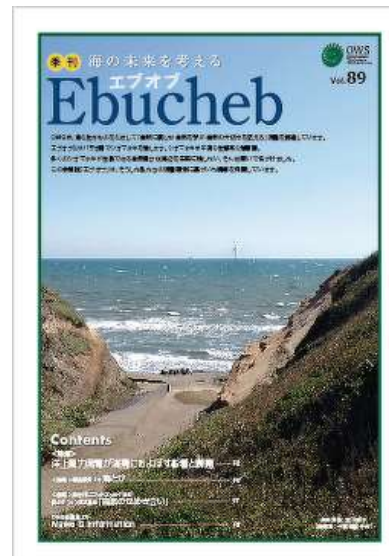
## ● 情報発信

### ◆ 海洋ごみ削減啓発チラシの配布

- ・ 写真資料展：400枚
- ・ 講演他：40枚

### ◆ エブオブによる発信（海洋ごみ関係）

- ・ 特集：90号 漁具による海洋汚染問題  
91号 海洋生態系における防汚物質の生物影響
- ・ 海とぴ：89号、91号で記事掲載



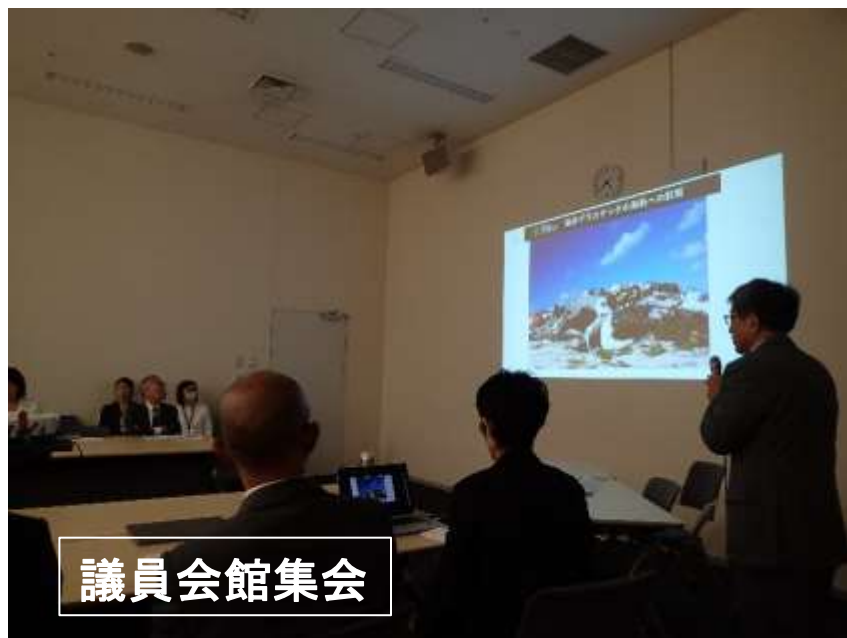


## ●その他の活動

◆エコメッシュ頒布

◆減プラスチックNGOネットワーク  
※ 院内集会開催

◆海洋ごみ取材：2カ所(対馬市・神栖市)



議員会館集会



取材：神栖市

## ● 江奈湾干潟保全活動

協賛: VISAジャパン

### ◆ 観察会 & ごみ回収活動

① 4月22日 西干潟 178kg 参加者: 13名  
(剣崎小教員含む)

② 7月22日 西干潟 238kg 参加者: 18名  
(剣崎小教員、日大生物資源科学部学生含む)

③ 3月30日 西干潟 132kg 参加者: 13名

### ◆ ごみ回収活動の監修・指導

① 9月03日 東干潟 326kg  
企業グループ社員対象 参加者: 54名

② 1月30日 東干潟 46kg  
三浦市立剣崎小学校6年生 参加者: 14名  
(出前授業 教員、スタッフ含む)



・延べ参加者: 112名  
・全回収量 : 920kg

## ● 江奈湾干潟保全活動



江奈湾ゴミ回収記録		
年度	回数	回収量
2012年度	3	1,307.80
2013年度	4	1,051.80
2014年度	6	652.40
2015年度	4	1,109.20
2016年度	3	474.70
2017年度	2	297.40
2018年度	3	775.00
2019年度	3	506.50
2020年度	0	0.00
2021年度	4	1,188.07
2022年度	8	1,718.77
2023年度	5	919.41
合計	45	10,001.05

◆ 江奈湾干潟でのゴミ回収量  
活動 12年間で 50tオーバー！



10t

+

毘沙門地区投棄ゴミ捨て場の  
回収分：40t

## ● 江奈湾干潟保全活動

### ◆ 干潟生物調査（年1回）

- ・6月18日 第11回江奈湾干潟生物調査
- ・参加者:34名



## ● ゆかし潟保全活動

### ◆ 干潟生物調査



助成：アウトドア環境保護基金

① 7月1日～2日 ゆかし潟ベントス調査  
参加者：8名

② 9月29日～30日 県立自然博物館観察会・ゆかし潟スノーケリング調査  
参加者：28名 ※OWS水中委員および協力研究者



7月調査



9月：和歌山県立自然博物館 観察会

## ●ゆかし潟保全活動

- ◆一般配布用リーフレット「希少な生き物を育むゆかし潟」発行



希少ベントス類  
61種を掲載

学校、教育委員会、ビジターセンター等に配置予定

- ◆論文「ゆかし潟における軟体動物・十脚甲殻類の記録」執筆中！



筆頭執筆：和田恵次顧問

- ◆和歌山県の第2次生物多様性戦略  
ゆかし潟干潟生態系の保全活動として、  
OWSの保全活動を記載！



# モニタリング調査&魚類調査

## ◆2023年度各調査実施日

- ①天 草 :10月3日~5日
- ②串 本 :10月17日~19日
- ③沖ノ島 :10月30日
- ④坂 田 :10月31日
- ⑤壱 岐 :11月13日~14日
- ⑥対 馬 :11月16日~17日
- ⑦五 島 :12月12日~15日
- ⑧田 子 :12月19日
- ⑨安良里 :12月20日
- ⑩竜 串 :1月16日~18日



# 世界アルバトロスデー&シーバードウィークの取組み

## ●イベント

- ①写真資料・ポスター展 6月15日～6月21日 展示:7月7日まで開催
- ②エクスカーション コアジサシ観察会 6月17日
- ③講演会 6月18日 対面40名+オンライン 300名



展示会場 東京港野鳥公園  
ネイチャーセンター

### ◆日本の絶滅危惧海鳥類発行

日本の絶滅危惧海鳥類26種を写真とともに解説したリーフレット7,000部を発行・配布



海鳥観察センター等  
へ配布



- **5月20日発行(春号) Vol.89**  
特集:「洋上風力発電が海鳥におよぼす影響と課題」  
執筆:風間健太郎(早稲田大学人間科学学術院)

- **8月20日発行(夏号) Vol.90**  
特集:「漁具による海洋汚染問題について」  
執筆:豊島淳子(笹川平和財団海洋政策研究所 研究員)

- **11月20日発行(秋号) Vol.91**  
特集:「海洋生態系における防汚物質の生物影響」  
執筆:大地 まどか(東京農工大学大学院)

- **2月20日発行(冬号) Vol.92**  
特集:「純淡水棲サワガニの驚きの進化史」  
執筆:竹中將起(信州大学理学部)





## ご支援いただいた企業・団体 2023年度

### <寄付:企業・団体>

順不同

- ◆リコージャパン株式会社
- ◆三井住友カード株式会社
- ◆日本出版販売株式会社
- ◆株式会社東京マツシマ
- ◆豊田通商株式会社
- ◆ブラザー販売株式会社
- ◆興洋海運株式会社
- ◆スギ薬局
- ◆朝日ライフアセットマネジメント
- ◆TerraCycle Japan 合同会社
- ◆一般社団法人VODエンタメ協会
- ◆株式会社5core
- ◆エレビスタ株式会社
- ◆合同会社TLG
- ◆エファタ株式会社
- ◆株式会社ジャストイット
- ◆合同会社ラビッツ
- ◆株式会社Agoora
- ◆ポップコーン株式会社
- ◆株式会社WICH
- ◆トヨタモビリティ東京株式会社
- ◆盛岡市動物公園ZOOMO
- ◆モンベルクラブ(株式会社モンベル)

### <寄付:学校>

順不同

- ◆中京大学 法学部 杉島ゼミ
- ◆名古屋市立菊井中学校2年生
- ◆学生有志団体Econista
- ◆聖心女子学院(高等科)
- ◆至学館高校1年C組
- ◆秋田県立秋田北高等学校 放送委員会

### <活動協賛>

- ◆オリンパス株式会社

### <業務受託>

- ◆国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査
- ◆国立環境研究所 魚類調査

### <法人賛助会員(スポンサー)>

- 株式会社ピックルスコーポレーション
- 華山運送株式会社
- 株式会社POIPOI

### <助成>

- ◆一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

## 2023年度の活動実績

事業名	事業内容	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」の開催	神奈川	393,088
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」の発行及び配布	全国	2,397,493
	環境学習用教材「海洋ごみ写真パネル」の貸出	全国	
	海洋ごみ企画展「海洋ごみについて考えよう」の開催	全国	
	講演「海洋ごみを考える」の開催	オンライン	
調査研究事業	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク 実行委員会事務局運営・講演会の実施 絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	全国	4,567,624
	造礁サンゴモニタリング調査(国立環境研究所受託)	全国	
環境保全協力事業	魚類調査(国立環境研究所受託)	全国	996,401
	江奈湾干潟保全活動・観察会・ごみ回収	関東	
	江奈湾干潟生物調査	関東	
	干潟ネットワーク調査(紀伊半島・ゆかし潟)2回開催	和歌山	
	三浦市小学校教員研修の実施	神奈川	
<b>事業支出額</b>			<b>8,354,606</b>



# 2024年度 事業計画

# 海の子プロジェクト 2024

## ● ネイチャースクール 2～3回予定

①5月11日 三浦半島江奈湾東干潟 (剣崎小学校前集合)  
「磯の生きもの観察&ごみ回収体験活動」 募集中:20名(三浦市の8小学校)



②5月25日 三浦半島江奈湾東干潟 (剣崎小学校前集合)  
「磯の生きもの観察&ごみ回収体験活動」  
豊通ケミプラスグループ社員の家族



③未定 「砂浜海岸と磯の生きもの観察」 城ヶ島  
三浦市の小学校 出前授業 **未定**

## 海洋ごみプロジェクト 2024

	実施日	イベント・活動	実施/開催場所	内容	参加 目標	回収 目標
1	4月1日 ~ 5月5日	海洋ごみ企画展	札幌市環境プラザ	A3サイズ版企画展	1,000名	
2	4月27日	観察会&ごみ回収	三浦半島江奈湾	観察会後回収活動実施	20名	300kg
3	5月11日	ネイチャースクール	三浦半島江奈湾東	自然観察&海洋ごみ回収体験	20名	100kg
4	5月25日	ネイチャースクール	三浦半島江奈湾東	自然観察&海洋ごみ回収体験	20名	100kg
5	5月25日	海洋ごみ回収 監修・指導	企業グループ	2法人50名が参加	50名	500kg
6	6月23日	観察会&ごみ回収	三浦半島江奈湾西	観察会後回収活動実施	12名	300kg
7	7月7日 ~ 8月24日	海洋ごみ企画展	東京港野鳥公園	A1サイズ版企画展	1,000名	
8	7月15日	海洋ごみ講演・パネル解説	東京港野鳥公園	企画展連動講座(調整中)	20名	
9	8月15日 ~ 8月25日	海洋ごみ企画展	企業グループ	豊通ケミプラスグループ内	150名	
10	9月7日	観察会&ごみ回収	三浦半島江奈湾東	観察会後回収活動実施	23名	300kg
11	10月18日 ~ 10月19日	ゴーストギア調査	新潟ゴーストギア調査	WWF、国環研連携調査	10名	
12	10月21日 ~ 10月22日	ゴーストギア調査	山形ゴーストギア調査	WWF、国環研連携調査	10名	
13	11月16日	サンゴ礁のごみ回収	対馬市志多浦町	対馬サンゴ礁ごみ回収	12名	6,000kg
14	11月24日	サンゴ群集の釣り具回収	伊豆半島・田子	田子サンゴ群集の釣り具回収	10名	10kg
15	2月1日	観察会&ごみ回収	三浦半島江奈湾西	観察会後回収活動実施	20名	300kg
16	3月30日	観察会&ごみ回収	三浦半島江奈湾東	観察会後回収活動実施	20名	300kg
17	随時	エコメッシュの領布	都度・全国	配布者10名	30名	
18	随時	啓発チラシの配布	都度・全国	配布枚数 2000枚	2,000名	
19	随時	政策提言の実施	都度・全国	減プラネットを通じた政策提言	1,000名	
20	随時	会報での情報発信	都度・全国	エブオブでの情報発信	1,500名	
21	随時	WEBでの情報発信	都度・全国	サイトでの情報発信	2,000名	
					<b>8,927名</b>	<b>8,210kg</b>

## ● 水中ごみ回収活動(水中調査委員会)

11月16日(土)

世界最北・対馬サンゴ礁のごみ回収活動(3回目)

・開催場所:長崎県対馬市



# 干潟保全プロジェクト 2024

## 江奈湾干潟保全活動

- 観察会&ごみ回収活動  
2024年度5回開催予定



- 江奈湾干潟生物調査:6月8日実施予定  
※荒天の場合の予備日:6月23日

- ガイドブック「希少生物を育む江奈湾干潟」の制作  
※9月末発行予定





# 干潟保全プロジェクト 2024

## ● 日本ベントス学会誌への掲載 最終1論文執筆中！

原著論文 特集

「三浦半島江奈湾干潟の底生動物相－東京湾口に残されたベントス多様性のホットスポット－」

### 日本ベントス学会 Japanese Association of Benthology

ホーム 学会について 学会誌 学会大会 学会規約 メーリングリスト 学会員 保全活動 各種手続き



#### 学会誌

[和文誌]

#### 日本ベントス学会誌

(年2回出版) 投稿規定

論文PDFは下記の-STAGE (外部サイト) をご参照ください。

<https://www.istaq.ist.qo.jp/browse/benthos/-char/ja/>



和文誌

## ● ゆかし潟保全活動

- ① 干潟生物調査の継続(7月6日~7日)
- ② ゆかし潟活動紹介WEBサイト制作



### ◆ガイドブックの現地配布と有効活用

- 造礁サンゴモニタリング調査 & 魚類調査  
10月調査開始 館山坂田～全国10海域
- 造礁サンゴ探索調査  
10月新潟県粟島・山形県飛島探索調査

## 会報「季刊 エブオブ」の発行

- **5月20日編集中(春号) Vol.93**  
特集:「地殻変動を生き延びてきた生物たち」  
執筆:井龍康文(東北大学教授)
- **8月20日発行(夏号) Vol.94**  
特集:「温暖化影響による海岸植物の北上(仮題)」  
執筆:中西弘樹(亜熱帯植物研究所・長崎大学名誉教授)
- **11月20日発行(秋号) Vol.95**  
特集:未定 執筆:未定
- **2月20日発行(冬号) Vol.96**  
特集:未定 執筆:未定



## 2024年度の活動予算

事業名	事業内容	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」の開催	関東	696,920
普及啓発事業	会報「季刊 エポオブ」の発行及び配布	全国	2,506,045
	環境学習用教材「海洋ごみ写真パネル」の貸出	全国	
	海洋ごみ企画展「海洋ごみについて考えよう」の開催	全国	
	講演「海洋ごみを考える」の開催	全国	
	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク 実行委員会事務局運営・講演会の実施 絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	全国	
調査研究事業	ゆかし潟活動紹介WEBサイトおよびガイドブック制作・配布	和歌山	4,312,000
	造礁サンゴモニタリング調査の実施	全国	
	魚類調査の実施	全国	
環境保全協力事業	造礁サンゴ探索調査	茨城	964,139
	江奈湾干潟観察会の実施	神奈川	
	江奈湾干潟生物調査の実施	神奈川	
	和歌山県ゆかし潟ベントス調査実施	和歌山	
	出前授業の実施	全国	
<b>事業支出額</b>			<b>8,479,104</b>